



# アルジェリア地震 救援 NEWS

〈 第3報 〉

CODE(海外災害援助市民センター)  
〒652-0801 神戸市兵庫区中道通 2-1-10  
Tel: 078-578-7744 Fax: 078-576-3693  
e-mail: info@code-jp.org  
URL: http://www.code-jp.org/

## ■CODE 海外研究員、現地入り

第2報でCODE海外研究員であるメキシコのクワテモックさんの現地派遣についてお伝えしましたが、6月14日(土)に現地入りしました。現在、被災地での情報収集、調査活動を行っております。現地の通信事情は未だ困難な状況にあるようですが、そのような中でも、被災地を写した画像が送られてきました。なお、詳細なレポートにつきましては、情報が入り次第ご報告致します。

クワテモックさんはアルジェリアに約20日間滞在し、その報告をもとに「お返しテント」を含めた救援プロジェクトの方向性が決定されます。



下層部が崩れたマンションと  
がれきの山 (クワテモック氏撮影)

## ■「アルジェリア・テント」探しにご協力ください

阪神・淡路大震災当時、アルジェリア政府から巨大なテントが贈られました。正式名称かどうかは分かりませんが、被災地では「アルジェリア・テント」と親しみを込めて呼んでいました。私たちは、被災地を支えて頂いたお礼として、今度は私たちがアルジェリアの人びとのことを考え、「テントを返そう」という呼びかけで募金活動を始めました。このことを「お返しテント」と呼んでいます。

「アルジェリア・テント」の思い出や、こんなふうにお世話になったなど、テントの中での当時の生活ぶりなどもぜひ、教えて下さい。テントにまつわる話や写真などがありましたらご提供お願いします。「アルジェリア・テント」のその後を、みんなで探しましょう。

みなさんからの情報、お待ちしております。

「HYOGO～アルジェリア お返しテント募金実行委員会」

実行委員長 黒田裕子 (阪神高齢者・障害者支援ネットワーク)

## ■募金活動のご報告

### 街頭募金

6月12日～14日にかけて、CODEでは国際協力事業団(JICA)と共に地震直後の「JICA 国際緊急援助隊」の活動の様子を写した写真パネル展ならびに「お返しテント」募金を行いました。この活動には神戸市、(財)神戸国際協力交流センター及び神戸地下街(株)から賛同を頂き、6月12日(木)は市営地下鉄三宮駅構内、6月13日(金)はデュオこうべ(神戸駅地下街)、最終日の6月14日(土)には三宮交通センター1階(さんちか入口)で



